

子宮頸がんの患者さん、家族を支援する冊子『もっと知ってほしい子宮頸がんのこと』作成 がん診療連携拠点病院 397 施設、患者相談窓口等を中心に配布

がん患者・家族主体のがん医療の普及・啓発を目指す NPO 法人がんセンターネットワークジャパン(以下 CNJ)は、日本イーライリリー株式会社、株式会社毎日放送(MBS)、アメリカンホーム保険会社、日本ベクトン・ディッキンソン株式会社の支援のもと、子宮頸がんに関する基礎知識や、医師に質問すべきことなどをまとめた冊子、『もっと知ってほしい子宮頸がんのこと』(A4 サイズ全 16 ページ)を製作いたしました。今後、全国がん診療連携拠点病院の患者相談窓口 397 ヶ所に送付し、各団体・企業などが実施するセミナー等でも配布いたします。また、がん医療情報サイト「がんチャンネル」(URL: <http://www.cancerchannel.jp/>)や、各社ホームページなどからもダウンロードできます。



子宮頸がんは、近年特に 20 代～40 代の若い女性に急増しており、女性特有のがんの中での発症率は乳がんに次いで第 2 位、20 代から 30 代の女性が発症する全てのがんの中で第 1 位を占めています(出典:国立がんセンターがん対策情報センター 地域がん登録全国推計によるがん罹患データ、1975 年～2005 年)

本冊子は、婦人科悪性腫瘍研究機構理事長であり、東京慈恵会医科大学産婦人科学講座教授の落合和徳先生の監修のもと、子宮頸がんそのものや標準的な治療などについて、患者さんやご家族などの支援される方が知っておきたいことを全 16 ページにまとめています。

子宮頸がんは、検診により、がんになる前の状態「前がん病変」で発見できることもあり、検査から診断の内容とその後の経過観察に関する流れから取り上げ、再発・転移したときの情報までを網羅し、長期的な見通しをもって疾患と向き合うことを支援しています。また、患者さんの体験談を「Patients Voice(患者の声)」として掲載し、女性特有のがんであることから生じる、相談しにくいデリケートな悩みに関するニーズにも対応する内容となっています。

特定非営利活動法人がんネットジャパン

1991年二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布した事に始まります。その後、各種がん患者向け書籍の出版、NCIがんファックスの翻訳提供(現在終了)、NCI PDQの翻訳Web公開(現在更新終了)、電話・手紙・メール・ファックスでの「セカンドオピニオンコール」等のサービスを提供してきました。2002年には、東京都よりNPO法人格を取得し、同年、がんネットジャパンホームページが日経インターネットアワードを受賞しました。2007年1月からは組織を一新し、専用事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業、市民へのがん啓発活動を行っています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.cancernet.jp/>

日本イーライリリー株式会社について

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、革新的な医薬品の輸入・開発・製造・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、注意欠陥・多動性障害(AD/HD)、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症をはじめとする、ニューロサイエンス領域、がん領域、糖尿病領域、成長障害領域や筋骨格領域における治療法を提供しています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>

株式会社毎日放送(MBS)

1951年日本初の民間放送(新日本放送・当時)として誕生。東京のTBSとネットワークを結び(JNN系)関西(近畿2府4県と徳島)をカバーする放送局です。誠実さと親しみやすさ=信頼感をモットーに様々な番組、事業を展開しています。2011年1月からは夕方ニュース番組「VOICE」でJUMP OVER WOMEN CANCER“女性とがん”キャンペーンを展開。2012年からは“Jump Over Cancer”に発展し、全国的に見て低い関西のがん検診受診率UPを目指す「がん検診啓発キャンペーン」を全社で展開。“テレビの力”を信じて真正面から取り組んでいます。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.mbs.jp/joc/>

アメリカンホーム保険会社

アメリカンホーム保険会社は、1960年に日本における損害保険の事業免許を取得して以来、半世紀にわたり日本での事業を展開しています。日本で初めて傷害保険の通信販売やリスク細分型自動車保険の販売を開始したほか、シニア向け傷害保険、医療保険などを発売しています。2012年4月には、ガンになったことがある方でも、過去2年以内にガンで入院・手術をしておらず、かつ健康状態に関して一定の条件を満たしていれば申し込むことができるガン保険の販売開始いたしました。これからも、常にお客様視点で考え、お客様の信頼を得て「お客様に選ばれる会社」になることを目指していきます。詳細はホームページをご覧ください。(新しいがん保険スペシャルサイト：<http://minhos.jp/>)

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

日本BDは、1971年に米国BD(ベクトン・ディッキンソン アンド カンパニー)の日本支社として設立されて以来(1985年日本法人化)、最先端の細胞解析研究に用いられる自動細胞分離解析装置(フローサイトメーター)および試薬、臨床現場で迅速な臨床診断をサポートする豊富な感染症検査機器・試薬や生培地、医療従事者を職業感染から守る針刺し切削防止機構付きの安全器材、院内感染防止に役立つ閉鎖式輸液システム、そして糖尿病治療のためのインスリン用注射器材など、医療現場に役立つ製品やサービスを多彩に提供しています。また、福島県福島市の工場では、各種生培地の他、薬剤誤投与の防止や医療緊急時における迅速な薬剤投与に貢献するプレフィル用シリンジを製造しており、世界におけるガラス製薬剤充填用注射器のトップメーカーとして高い信頼を得ています。

詳細はホームページをご覧ください。www.bd.com/jp/

【冊子に関するお問い合わせ先】

NPO 法人がんネットジャパン

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073

E-mail:info@cancernet.jp